

## 会 議 録

会 議 名		第1回かわにし創生総合戦略推進会議	
事 務 局 (担当課)		総合政策部政策創造課	
開 催 日 時		令和元年6月10日(月)	
開 催 場 所		市役所4階 庁議室	
出 席 者	委 員	伊藤 伸 委員、片山 優子 委員、城南 雅一 委員、 浜田 敬子 委員 福嶋 浩彦 委員、三坂 友章 委員、 山本 利映 委員	
	そ の 他		
	事 務 局	越田市長、松木総合政策部長、船木総合政策副部長、 的場政策創造課長、野田政策創造課長補佐、富永、名塩	
傍聴の可否		可	傍聴者数 1人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会 議 次 第		1.開会 2.委嘱状交付 3.市長の挨拶 4.委員の紹介 5.議事 6.閉会	
会 議 結 課		別紙審議経過のとおり	

## 審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>お時間になりましたので、ただいまより第1回かわにし創生総合戦略推進会議を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます、川西市総合政策部政策創造課の富永でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本会議はかわにし創生総合戦略推進会議公開制度運用要綱及びかわにし創生総合戦略推進会議の会議公開に係る傍聴要領に基づき公開で行われ、傍聴が可能となっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では初めに、委員の皆様へ越田市長より、かわにし創生総合戦略推進会議の委嘱状をお渡しいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜委嘱状交付＞</p>
事務局	<p>続きまして、越田市長より皆様へご挨拶を申し上げます。</p>
越田市長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>本日はお忙しいところお集まりをいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日からかわにし創生総合戦略策定に向けた取り組みを皆様に御協力いただきますこと、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>この、総合戦略をつくるにあたりまして、私の思いを少しお話をさせていただければと思っています。</p> <p>私自身が初めて政治を志したのは、20歳のころでした。</p> <p>祖母が近くにある九十九記念病院という病院に入院をして寝たきりになりました。一日中天井を見て一生が終わっていく、そういった祖母の姿を見て、この世の中って何かおかしいぞ、社会って何かおかしいぞって思ったことが私が政治を志すそのスタート地点になりました。</p> <p>ただ、親が政治家でもありませんし、東京大学を出ているわけでもありませんし、お金持ちの子供というわけでもありませんので、政治家になんかなれないだろうなと思いながらどうやってこの世の中に貢献をしていくんだ、この憤りをどうやったら解消できるんだろうと、そんなことを考えておりましたが、大学生のときにいろんな出会いがある中で、やっぱり自分で変えられる場所にいると決断したのがこの世界に入った大きなきっかけでした。</p> <p>25歳で市議会議員になり、33歳に県議会議員になり、そして昨年10月に市長に就任をさせていただきました。</p> <p>私が川西の中で感じているその大きな課題というのは、今この川西の町が大きな転換点にあるという、まさにこの危機感、こういったところから市長に就任をいたしております。</p> <p>川西は地域の40%、いわゆるオールドニュータウンと言われる都市部近郊の住宅都市という形で発展をしてきましたが、これは何も勝手にでき上がったわけではなくて、50年前にまちづくりをするときにそれこそ、開発事業者に土地を提供してもらい、学校をつくるその学校の用地を提供してもらい、道路をつくって市に提供してもらい、そういったことを開発の義務づけをするといったところからこの川西のまちづくりが始まりました。</p> <p>実はそのときの法律では決してそういったルールを設けるというのは決して認められるわけではなかったんですが、この川西方式という方式を貫い</p>

発言者	発言内容等
	<p>たことによって、川西は人口16万人の町に発展し、この方式は後に全国800以上の自治体でも真似をされる、一時期、都市計画まちづくりの先進事例になりました。</p> <p>ただ、それから50年大きくモデルチェンジをしないまま川西が進んできたがために、人口の高齢化、30%を超える高齢化率、兵庫県下でもワーストレベルと言われる財政状況、こういった中で、川西の将来がなかなか夢が描けない、こういった状況の中で、私は新たなデザインをしたいと思い、今この場所に立っています。</p> <p>これから地方創生戦略をつくっていただくわけですが、私はやはり思いをしっかりと述べさせていただいたほうが、皆さんに御協力をいただきやすいだろうということもありましたので、私が今川西の中で目指したいもの、市民の皆さんにとともに描きたい夢というのは、川西は私はベットタウンというまちの特性上、これから大阪を目指してとか東京目指してとかそういったまちにしていくつもりはありません。</p> <p>私が目指したいのは、この川西で当たり前の幸せをみんなが実感できるような、そんな中でぬくもりとか優しさとか多様性とか、そういったものを大切にするようなまちをつくっていききたいなという思いで市長をやっています。これが、私自身が目指す大きな価値観であります。</p> <p>子育てに関して言えば、単にお金を配るということより、お金がないものお金がないところにお金を、お金ではそれぞれが買えないところにしっかりとお金を我々が使って子供たちに人生最高のスタートが切れるようなそんな環境をつくりたい。</p> <p>働くといったときに、ついつい工場の誘致とか、本社機能の誘致とか、そういったことを考えがちですが、むしろそういった企業家たちビルゲイツやホリエモンを探すとかがそういった形ではなくて、この地域で根ざした形での企業を増やしていったり、働き方を変えるという形で新たなチャンスがないのか新たなモデルがつかれないのか、そういったことを私自身は求めていきたいなというふうに思ってここまでやってまいりました。</p> <p>また、私自身が政治を志した原点は祖母が寝たきりになったというところがありますので、やはり最後までこの地域で歳をとったとしても障害があってもなくても、この地域で暮らしていける、そんな町のために必要な政策は何かということも、しっかりと追い求めていきたいというふうに思っています。</p> <p>これがマニフェストの中で掲げた大きな柱でありますし、このことは私自身も政治家としてこれからも大切にしていきたいと思えます。</p> <p>ただ、今回の地方創生戦略のつくり方に対しては、徹底的に市民の皆さんとの対話、市民の皆さんの参加、そういったものを大切にしていきたいと思っていますし、どこかで誰かがきれいな冊子をつくるということではなくて、しっかりと市民の皆さんの議論、職員の間での議論、そして専門家の皆さんのアドバイスをいただいた中で、市民の皆さんと私たち行政がともに同じ夢を描けるような、そんな夢をこの創生戦略の中では盛り込んでいただきたいというふうに思っています。</p> <p>ただ、繰り返しになりますが、こういったものは、私たちの従来の知見、我々の従来の経験だけではなかなか実現ができませんので、きょうお越しの各委員の皆様ぜひ忌憚のない御意見をいただいて、我々行政職員にもいただきたいと思えますし、市民の皆さんの間にも入っていただいて、本当にこの川西みんなで作っていったんだとか、そういったものを、この計画の中で戦略の中で盛り込んでいただければというふうに思っております。</p> <p>従来のこういった審議会の冒頭の挨拶としては少し踏み込んだ話になっ</p>

発言者	発言内容等
	<p>たかもしれませんが、冒頭私の思いというものをぜひお聞きいただきたいと思ひまして、御挨拶とさせていただきます。どうかこれから1年間よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>では次に、委員の皆様の御紹介をさせていただきます。</p> <p>委員紹介</p>
事務局	<p>続きまして、本会議の会長及び副会長の選任について御説明いたします。かわにし創生総合戦略推進会議規則の第4条の規定に基づき、当会議の会長及び副会長を選任する必要があります。つきましては、会長及び副会長の選任についてお諮りしたいと存じます。当規則第4条には会長及び副会長は委員の互選によって定めると規定しておりますが、本日が初めての顔合わせでもございますし、事務局から推薦させていただいた上、ご承認を得たいと思ひますがよろしいでしょうか。</p> <p>&lt; 意義なしの声 &gt;</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、事務局のほうから御提案させていただきます。それでは、会長には福嶋浩彦委員。副会長には伊藤伸委員を推薦させていただきますが、御承認いただけますでしょうか。</p> <p>&lt; 意義なしの声 &gt;</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員の皆様に御承認いただきましたので、会長を福嶋委員、副会長を伊藤委員にお引き受けいただくことといたします。福嶋会長、伊藤副会長、恐れ入りますが、お席の移動をお願いいたします。</p> <p>会長・副会長、指定席に移動</p>
事務局	<p>それでは、会長、副会長より一言ずつ御挨拶を頂戴したいと存じます。恐れ入りますが、福嶋会長からよろしくお願ひいたします。</p>
福嶋会長	<p>このたび会長に選任されました福嶋です。肩書は中央学院大教授になっておりますが、別に学者ではありません。</p> <p>千葉県の我孫子市っていうところでここと同じように東京のベットタウンですが、ここで12年市長をやっておりまして、そのあと大学にいて民間から政府に入る形で消費者庁長官を2年やっておりました。同じベットタウン市長をやった経験というのは、少しはお役に立つかなと思ひますし、消費者庁長官、国の行政の責任者と市長、自治体の長の責任者をやりましたが、国が大事だっているのは当たり前ですが、本当に私たちの社会をよくするためには、国からではだめだということ痛感をしてきました。</p> <p>地域から自治体から変えないといけない。よくしていかないと、いい社会にはならない。本当に建前ではなくて、切実に思っておりますのでこうやって、また、川西の地域づくり、まちづくりの中に加われることをうれしく思っております。本当にざっくばらんに自由な楽しい議論をしていけたらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

発言者	発言内容等
<p>事務局</p> <p>伊藤副会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、伊藤副会長、よろしく願いいたします。</p> <p>構想日本の伊藤と申します。</p> <p>私は、半分は事務局的な顔をもっておりまして、今回の総合戦略をつくる全体の協力を構想日本として、しております。</p> <p>無作為抽出の市民と一緒に議論するという方式をもともと構想日本でやってきました。</p> <p>今回はその手法を採用することになっています。</p> <p>今までは、こういう審議会のメンバーは団体の長の方が一般的だったかと思いますが、今日のこの顔ぶれを見ただけでも今回、市長がきれいな冊子をつくることは目的じゃないというところが見えているのではないかと思います。</p> <p>もう一つ、福嶋さんが消費者庁長官をされていた時と同じタイミングで、内閣府の行革をする部署で3年半ぐらい働いていました。</p> <p>そのとき私が思った感覚が全く福嶋さんと一緒でして、国からでは、本当にこの世の中変わらないということをつくづく感じました。</p> <p>ですので、現場では何が起きているのかを大切に、そこから住んでいる人たちが幸せになれるなというところをこの会議としてつくっていきたいと思っております。</p> <p>よろしく願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に当規則第2条に基づき越田市長より当会議の諮問をさせていただきます。</p> <p>越田市長、福嶋会長よろしく願いいたします。</p> <p>&lt; 諮問 &gt;</p>
<p>事務局</p>	<p>ここで越田市長は都合により退席させていただきます。</p> <p>&lt; 越田市長退出 &gt;</p> <p>それでは、ここからの進行は会長にお願いしたいと思います。</p> <p>福島会長、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>福嶋会長</p>	<p>川西市の現状ということですが、第2次総合戦略の策定に向けて、策定スケジュールも出されていますけれども、ここでの、議論があるかなと思いますので、先に、全体のスケジュール、位置づけを説明いただいてそこで議論して、そのあと中身に入ったほうが、よいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは順番を入れかえて、4番の「第2次総合戦略の策定に向けて」を説明お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>総合政策部政策創造課の的場です。</p> <p>よろしく願いします。</p> <p>資料1の19、20ページ、資料4のスケジュールをお配りしておりますので、その資料で第2次総合戦略の説明させていただきます。</p> <p>A4横向きの第2次総合戦略策定という資料の19ページを説明させてい</p>

発言者	発言内容等
	<p>たきます。</p> <p>まず、第2次総合戦略に向けて、右側の外部組織ということで皆さんがた、本日お集まりいただいております総合戦略の推進会議ということで、さまざまな視点から御意見をいただきたくて考えております。一方、庁内の組織といたしましては、かわにし創生本部ということで、この総合戦略につきましては、市長が決定策定することになりますが、市長を本部長といたしまして、副市長、それと各所属の部長級で創生本部のほうをつくっております、そちらのほうでいろんな案を検討するというような形になっています。</p> <p>実際には、かわにし創生本部の下に創生本部会ということで、こちらのほうは、総合政策部長を部会長といたしまして、これらの総合戦略の新たな取り組みを部会員に、リーダーとして課長・課長補佐級を5名選出して5グループを作っていくというふうに考えております。</p> <p>そこに中堅・若手職員ですね、これからのまちづくり、あるいは行政の組織運営を図るうえで中堅・若手職員にも、各グループ3名ずつ入ってもらって、1グループ4人のグループでも実際に議論してもらいたいというふうに考えております。</p> <p>この部会員には後ほど説明しますが市民会議にも参加していただいて、市民の方々の意見を聞くこととしています。</p> <p>職員としてこの市民会議とは別で、定期的に職員同士で集まって、いろんな所属が集まり、職員として考えて、それを議論してもらってというところを重きにおいています。部会のほうで、戦略素案を策定し、かわにし創生本部に報告するというような形で考えております。</p> <p>右側の外部組織であります、市長から先ほどもお話がありました無作為抽出で市民2000人に募集案内の方を送付いたしました。</p> <p>約160名近くの方が参加しますということで非常にありがたい反応をいただきまして、この方々たちで市民会議を開催し、議論いただくということで考えております。</p> <p>市民会議も5グループに分けたんですが、かなりの人数になりまして、1グループ35名程度いますので、このコーディネータ的な部分が非常に難しくなってくるかなというふうには考えておまして、ここにはコーディネーターの方を各班1人ずつ入っていただいて、市民の方々の意見を引き出していただくというふうな形で考えております。</p> <p>あと、市民の方々の議論で少し専門的なサポートができるように、ナビゲーターを呼んでですね、少し議論を深めていただくことも考えております。</p> <p>かわにし市民会議の意見を総合戦略推進会議に、報告させていただこうというふうに考えております。</p> <p>20ページでございます。</p> <p>川西市総合計画という10年間の計画があります。</p> <p>こちらのほうは市の最上位の位置づけになっておりますので、であいふれあいささえあい輝きつなぐまちということで、都市像を持ちながら、この計画を進めているということでございます。</p> <p>一方で今回、皆さんに御協力いただく総合戦略の部分でございますが、こちらのほうは、この総合計画を踏まえながらも、より、川西市の実情に応じた政策施策、重点施策について議論していただきたくて考えております。</p> <p>国のほうでは、まちひとしごとということで、地域の特性を生かしたまちづくりであるとか、出産や子育ての支援であるとか、新たな仕事を生み出し</p>

発言者	発言内容等
	<p>て人の流れをつくっていこうということを国の大きな方向性も踏まえた中で、第1次総合戦略を策定いたしました。</p> <p>第2次総合戦略では、後期基本計画、総合計画が34年度までのため、計画期間も34年度までと考えております。</p> <p>あくまでも3年間ですので、少し実態に合わせたような戦略になりがちかもしれませんが、我々としては5年、10年後にとって川西市の大事な点はどこだということも見据えながら3年間の戦略を策定していきたい。</p> <p>それと、策定では先ほど申しあげましたように今プロセスですね、市民の皆様からの意見、それと、我々のような部署だけではなくて、職員全体での議論のプロセスを重視していきたいというふうに考えてございます。</p> <p>右側のテーマでございますが、これらの総合戦略に直接つながるテーマということではなくて、今回市民会議に向けて2000人の皆さんに募集をかけたときに、川西市にとって、会議で議論したいテーマ、あるいは川西市といえば、どういうイメージをお持ちですかというアンケートをとらせていただきました。</p> <p>大まかには産業・子育て教育・住宅都市ベッドタウン・文化歴史・高齢化などもかなり進んでいることもありまして、生きがい・地域交流という部分が多かったということで、市民会議、あるいは職員の部会でもこのテーマはかなり横断的になるかと思いますが、まずこのテーマをもとに、議論をしてもらえたらなというふうに考えております。</p> <p>次に、資料4のスケジュールでその流れを説明させていただければと考えております。</p> <p>まず、推進会議が一番上の行になっておりますが、今回6月10日ということで、全体説明を考えております。</p> <p>来週の土曜日にかわにし市民会議の第1回を開催させていただきまして、7月6日、7月27日、8月24日、9月14日の第5回目まで市民の方々に議論いただいて、それに並行して、創生本部部会ということで実際の素案の作成をしてもらう部分で、引き続き職員のほうも並行して議論、対話してもらいます。</p> <p>市民会議の第5回目の議論と部会の議論を踏まえて、かわにし創生本部で内容を詰めて、それを、皆様方お集まりの第2回の推進会議に市民の意見をまとめた部分と、それと職員のほうで少し肉づけした部分を一緒に報告させていただきたいと考えております。</p> <p>9月下旬、10月中旬、11月上旬の3回、皆様と推進会議を開催させていただいて、そこで一定の報告案ということをお願いして、その中で、そちらのほうをかわにし創生本部のほうで内容を職員のほうで詰めさせていただきたいと考えております。</p> <p>11月に報告書のほうをいただきまして、そこをもう一度11月下旬中に原案ということで、パブリックコメントをかける前に市民に議論をしていただけたらなというふうに考えております。</p> <p>12月にパブリックコメントを行い市民から御意見を通じまして、1月に再度このパブリックコメントを終えた内容を最終創生本部のほうで議論いたしまして、皆様方の推進会議に諮らせていただき、再度また御意見をいただきながら、2月の第5回の創生本部で策定ということを踏まえて、3月の総合戦略の策定を迎えたいというふうに考えております。</p> <p>事務局からは以上です。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>ありがとうございました。  今の事務局から説明で皆さんから御意見、御質問ありますか。  総合計画と総合戦略の関係、今の説明でわかりましたでしょうか。  最上位計画は総合計画になると思いますが、総合戦略はどういう位置づけでどういう役割分担って、ということか、端的にポイントを説明していただけますか。</p>
事務局	<p>まず総合計画のほうですが、総合計画の中では、例えば道路の部分であるとか公園であるとか、また、生活困窮者や障がい者の方であるとかそういう福祉の部分もございます。</p> <p>それ以外にも、先ほど言いますと子育ての関係、教育の関係あるいは地域とのつながりの関係ということで、行政が取り巻くいろんな部分の内容を総合計画にまとめているというような内容でございます。</p> <p>それはまさに川西市が進むべき内容や方向性が、総合計画にまとめられているというような状況でございます。</p> <p>総合戦略のほうでございますが、まず総合戦略の策定の前段に、人口の東京一極集中を改善するために、地方にも、人口の流れができるように、それぞれの地域で課題を明確にして、それに対する取り組みを行っていく。その中で、例えば川西のほうのまちづくりも進んでいくあるいは一定の人口も地方の方に、川西市の方にといった大きな目的がございました。</p> <p>川西市のほうでまず、そういう流れを進めていくために、第1次総合戦略の課題として、高齢化への対応、まちの生産性の向上、少子化に歯止めをかける、まちの構造の転換というような課題を抽出した中で、人口減少、高齢化社会に着実に対応し、持続可能なまちづくりを実現するといった基本姿勢を持ちました。</p> <p>第2次では改善すべき点かなと考えておりますが、基本目標の下に施策、ここでも、交通、あるいは安全安心の部分、住環境、それと、結婚支援、出産、健康、就労支援などと書かれておりますが、川西市として5年、10年後のまちづくりを見たときにどういう部分を重点的にしていくことが良いか、どの分野のどの施策を進めていくことがいいのかということ掘り下げて、策定していく必要があるのかなというふうに考えております。</p> <p>今回第2次の総合戦略では総合計画の行政が抱えている全ての政策からですね、さらに川西市の魅力を高める施策、市民が幸せになるような施策について重点化を図りたいというところが、今回の総合戦略に対する市としての思いでございます。</p>
伊藤副会長	<p>背景含めて違ったら教えていただきたいんですが、もともと総合計画というのは、1番上位の考え方で、そこに4年前から国が総合戦略という5年の重点計画を努力目標として作りなさいと、ただ結果的には全ての自治体で作ったんですね。なぜかという、地方創生に係る交付金をもらうために総合戦略を作ること条件にしたので、結果的には東京も含めた全ての市区町村が作ったことになるんですが、そのときに、多くの自治体は総合戦略と総合計画の関係性についての課題がありました。川西市の場合は前回の第1次総合戦略のときには、この、先ほど御説明いただいた基本目標の4つも国が示していたもの、国にある程度合わせた形である程度つくられていたと思います。総合計画を、もともと持っていたからこうなったと思うんです。</p> <p>今回、第2総合戦略で特色を出した一番の大きな理由は、プロセスを変えていこうというところで、コンサルに投げると結果的には実行する計画にな</p>



発言者	発言内容等
	<p>らない。総合計画というのは先ほどの場課長のお話にあったように全ての分野を網羅している。</p> <p>市民に密接に関わる関わらないに関係なく、全ての分野を網羅した計画になっていて、総合戦略について少なくとも第2次についてはその網羅性は一旦排除しようとしている。</p> <p>特に今回でいくと、川西市の総合計画の年限に合わせるから、平成34年度、あと3年後までの戦略をつくるに当たって、そこは網羅性じゃなくて、特に重点的に何をこの3年間で川西は考えていかなければいけないかっていうことを考えていきたい。</p> <p>その考える分野についても、市があらかじめ何か区分を決めたのではなくて、今回は、市民に無作為で2000人に一斉に送付をしていますが、市民に川西から連想するイメージでキーワードをきいて、そこから議論する軸を作っていこうというふうに進められた結果として、テーマの1番から5番というのが、でき上がったということであります。私の認識では、総合計画という網羅性のある計画はあるけれど、10年計画であったから事情の変更というのが時代の流れによって変わってくるところもあるから、今回3年間の計画を議論しましょうと。</p> <p>場合によっては総合計画に書かれていることから、もしかしたらバッティングするようなことで出てくるかもしれないし、より加速度的にやらなきゃいけないことが出てくるかもしれないけれども、少なくとも総合戦略が書かれていることは、総合計画を上乗せすることもありうるものだというふうに認識していたんですけれどもどうですか。</p>
事務局	<p>今お二人がおっしゃっていただいたとおり、例えば総合計画の暮らしやふれあいで、どの内容を総合戦略でより重点化するか、力点を置くかということを審議していただきたいと考えております。</p>
伊藤副会長	<p>そのときに、もちろん総合戦略をつくるということ自体は努力目標という名の半分義務化であるけれども、今回第2次総合戦略を川西市が作るに当たっては、国の基準に合わせて、先ほどの基本目標の4つは必ず当てはめなければいけないわけではなく、逆に縛られてはいけないんじゃないかなと思うんです。</p> <p>もちろん技術的には交付金のとれる戦略を作るということはあるけれども、今回はやっぱり市民を中心につくっていくってことを考えたときは、もしかしたら、この基本目標が全然違うものになるかもしれない。</p> <p>そこが市としては、あくまでも議論から始まった市民の意見からつくり上げていくという考え方でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>副会長がおっしゃっていただいているとおりです。</p> <p>国の動きを見ないというわけにはいかないもので、少し状況を見ている中で、例えばソサイエティー5.0なんかも入っていますが、今回は川西市として取り組むことが優先で、それが国の方とも、一致しているものがあればいいですが、あくまでもそれを国が示していると捉えて、川西市のオリジナル部分の戦略を策定したいというふうに考えております。</p>
福嶋会長	<p>そうすると、総合計画は網羅的です。総合戦略は4年間、特に、市民の提起を踏まえつつ、重点的にある分野を考えていくんですよというふうになっております。</p> <p>そのときに、議論しているうちに総合計画と食い違うものが出てくる。総</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>合計画が上位計画ですけども、その上位計画と違う結論になって構わないと。上位計画の方を変えていきますということなのか、それとも上位計画からはみ出す議論はNGですということなのか、どちらでしょうか。</p> <p>総合計画のほうについては、別の市民の皆さんあるいは議会の方々とも議論してもらったものですので、それを会長がおっしゃっていただいたように大きく変わる部分についてそれをどう総合戦略のほうに含めることについては慎重に進めないといけなかなと考えてはおります。あくまでもこの5年間、皆さんと作り上げた総合計画は大きく書いてある部分もございますので、そこは、可能な限り、この総合計画に沿った形で総合戦略のほうの内容を検討していきたいと考えているのですが、総合計画を超えた議論については、明記するのはどうかと考えています。</p>
福嶋会長	<p>総合計画と一言で言っていますが、基本構想と基本計画と実施計画ですよ。ね。</p> <p>実施計画というのは2年とか3年とかの具体的な計画ですよ。</p>
事務局	<p>ちょっと整理させていただきますと、今の会長がおっしゃったように議決取っているのは基本構想であります。それは市のビジョンの方向性だけですので具体策を何も書いてございませんので、そこを逸脱することは、まずありえません。</p> <p>総合計画は10年ですけど、その下に前期後期5年5年の基本計画を策定し、今御指摘いただいている、その下にローリングする実施計画というものがあります。</p> <p>実は今会長に御指摘いただいたとおり実施計画と、この戦略はだぶります。</p> <p>実施計画はプライオリティがあって何をこの後期基本計画の中で大切に、どういう戦略で何を優先順位をつけてやっていくかっていうことが、まさしく、この今回つくっていただく戦略になってくるんです。実施計画の戦略ありきの実施計画に逆にこれからやり直さないといけななという形になっておりますので、そこはだぶります。大きな意味では後期基本計画はざくっとした話でございますから、どんな戦略をもってきてもですね、それを超えていくというふうなことは、まずあり得ないだろうというふうに認識をしておりますので、その中で、その具体的にどの戦略を高めてですね、もっていくかっていうのは、実施計画の変わるものをこの戦略づくりやしていきたい、ちょうど3年間の実施計画の期間ですので、そういう形で御認識いただけたらなと。</p>
福嶋会長	<p>ちょっとこれを委員の皆さんがこれから話されて、一番基本的なことなのできちんと整理していただこうがいいと思うんですが、総合計画の中で、基本構想というのは、これは川西市の将来像を示したんですよ。</p> <p>これは議会で議決をされています。</p> <p>ですから、市長といえども変えるわけには勝手にはいかないと。市長は変えたいと思ったらもう1回議会で提案し直して議会で議決をしなければ市長も変えられない、それは私たちもその範囲でしかできないですよ。</p> <p>だけど、その下の5年間の基本計画と実施計画はまともにダブります。</p> <p>だから、むしろこの総合戦略の議論を優先して、これは市長がどちらも決めることなので、今回の議論で総合戦略をこうやっていくんだって決まったら総合計画のほうを直す。それから、基本計画もざっくりだから、多分ダブ</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>らないだろうっていうのは、それは見通しで、もしかしたら、食い違うかもしれない。</p> <p>そのときも基本計画を、市長が直すってことは、できるわけですよね、基本構想ではありませんから。だからそれはそういう認識させてもらって、ここは自由に議論していく、というふうな理解でいけたらなと思いますけどよろしいでしょうか。</p> <p>結構でございます。基本構想を変えるということは当然、議会との調整がでございます。その範囲でどういうところまで言われるかわかりませんが、この議論の場っていうのは枠をはめてしまうのではなくて、議論をしていただければ結構です。もしそういう事態になればですね、きちっと対応していかないといけないなと思います。</p>
山本委員	<p>基本構想っていうのが総合計画に当たるということか。</p>
福嶋会長	<p>総合計画の一部になる。基本構想と基本計画と実施計画をまとめて総合計画と呼んでいる。</p>
城南委員	<p>基本構想をあらかじめいただけるとありがたいですね。</p>
事務局	<p>基本構想のほうにつきましてはまちづくりの冒頭に目指す将来像を明らかにし、それを達成するための目標と政策ということで、具体的にはですね大きいところで目指す都市像 であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち、これは基本構想の中の都市像ということになっております。</p> <p>この都市像を目指すためにですね、都市のデザインを明示したり、生活の視点と川西のまちづくりということで基本構想の中に、今皆さんに配付しておりますけど、幾つかの章を設けて、基本構想を策定しているというような状況でございます。</p>
福嶋会長	<p>基本構想、この会議中じゃなくてもいいから、終わってからでもいいから、次回までに、配布してください。</p>
城南委員	<p>テーマがアンケート結果からこうなったと話があって、それから先ほど基本構想というのがあるという話をお聞きしたんですけども、何か、イメージとしては、テーマ5つあるんですけども、そこにやっぱり一本筋が通っているといいですか、理念が通っているのかがやっぱり大事なな感じがします。</p> <p>例えば、うちの会社も含めまして、経営理念であったり、存在意義であったりっていうところを固めるんですよね。</p> <p>それが共有できると、いろんなテーマがあったとしても、それが背骨ですから、比較的早く決めていくことができる。ぶれないし、たとえ社長が代わったとしてもそれが脈々と、企業残ってますんで、ぶれない。</p> <p>そういうことで、経営理念であったり、価値観であったりっていうところをまず最初に社員をまきこんで議論していたりするんですよね。</p> <p>例えば、そのときに、たとえば自分の会社の存在意義って何だっていうことを問うんです。なんのためにこの会社は存在しているのかと。これは、川西市に当てはまるかどうかちょっとよくわからないんですけども。例えばその主語を川西市と読み替えると、なぜ、川西はなんのために存在しているのか。川西市はなくてもいいんじゃない。いやいやそうじゃなくてというのが</p>

発言者	発言内容等
浜田委員	<p>あって初めて川西市の存在意義であったり、使命であったり役割であったり、そこがちょっと重要になってくるのではないかと気になっておりました。</p> <p>そこが皆さんの価値観であったり、市民の価値観がばらばらの中で何か決めていこうとするのは、なかなか厄介だなんていうのは一つの問題ですね。</p> <p>それからもう一つは、5個のテーマでなり、その戦略が決まってくるんですけど、この戦略っていうのをやっぱり全部連携しているっていうか、シンクロしているといいますか、全部そのストーリーで結ばれているっていうのが理想かなっていう気がしています。</p> <p>うまくできるかどうかわかりませんが、そういう意識しながら戦略っていうのを進めていけたらなというのが私の考えでございます。</p> <p>1から5のテーマの区割りがどうしても行政の担当区割りになってしまふ。</p> <p>幾つかの自治体の審議会に入ってもですね、抱えている課題が複合的になっているので、例えば子育て問題を解決するという、うまくいっている企業とかNPOの活動を見ていると、空き家問題と子育て問題をセットで考えて、さらに高齢者問題を加えるなど、四つぐらい課題を一つの事業で組み立てている、いろんな事例を見て感じています。ただ、どうしても最初は行政側の立場で落とし込むので、雇用、子育て、住宅、それぞれがグループ毎で話し合われていくことになるのではないかと。住宅政策と子育てはものすごく密接に絡んでいるし、雇用と子育ても関わりが強いので、このテーマ割とグループ分けが、今後議論していく時に、最終的にバラバラの議論になってしまうのかなと心配なのですが。</p> <p>こんなふうで良いのかなと、ちょっと今、感じています。</p>
伊藤副会長	<p>今の意見に対して、どのような立場で喋れば良いかわからないですが、少なくともこのテーマ選定のところは構想日本と事務局が相談しながら作ったところでありまして。字面がちょっとまるまってしまう結果、行政の方の担当課割に見えてしまっているところがあるなと思っています。</p> <p>ここは、今までの実感でしかないですけど、例えば子育て教育の充実という班が、子育て教育の議論しかしてはいけないということではなく、結果的には2人が話をさせていただいたように全て関わってくるので、この分野のノリは必ず越えてくる。</p> <p>少なくとも市民会議の場ではノリは越えるものだということにして、取りまとめをするときに、例えば子育ての班は子育てのことだけの記載にするのではなく、出た意見を幾つかのカテゴリーに整理をしてという形にしていけます。先ほどの空き家と子育てとか、高齢者、住宅どうするかっていう声は、議論の中心になってくると思いますので、今回、5つの班のコーディネーターは構想日本が選定するメンバーになりますので、コーディネーターの一つの役割っていうか、意味になってくると思っています。</p>
福嶋会長	<p>全体の基本的な戦略というか方向というのは今、議論していた基本構想だと思うんですよ。だから説明していただくときに、資料配付もそうですが、まず基本構想の説明をしていただく。ということじゃないと総合戦略の話ができないんじゃないかなって。今お話聞いてて思ったんですが、どうですかね。基本構想の説明を、この後、まずしていただいたらいいかなと思うんですが、資料間に合いますか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	今、準備しております。届き次第ご説明をさせていただきます。
福嶋会長	ちょっとそれまで、そのほかに。策定スケジュールも含めて。
三坂委員	<p>今テーマということで話があるんですけど、例えば先ほどおっしゃった空き家問題にしても、例えば、ニュータウンと昔からの町っていう問題もやっぱり課題は違ってくると思います。同じニュータウンでも、能勢電鉄沿線のニュータウンとバイパス沿いのニュータウンでは課題が違ってくるんです。</p> <p>そういった地域分けってというのがやっぱり課題としては分ける必要はないのかなというのを感じました。</p>
福嶋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この5つのテーマを、1回目の市民会議が始まるため、この5つで良いのかということをお話の方が良いのではないかと。後になって、これについてはといっても手遅れの話なんで。</p> <p>そういう議論も本当は、基本的なところでだと思えます。時間の制約はありますが。</p> <p>個人的には5つ目の生きがいてという言葉は、いずれにせよ行政から市民にこうではと言うのは違うかなと思っていて、私は生きがいを行政の中で議論してほしくないと思えます。</p> <p>ほかにどうですか。</p>
三坂委員	<p>私を感じているというか、今後、川西市の課題ということで空き家相談センターの元理事長と生産緑地相談をする立場から、3年間で特に重要なのが、高齢化が結構進んでいて、先ほど言ったように、空き家予備軍で非常に高いということ。</p> <p>都市計画生産緑地が79ヘクタールもあるということで、まち自体が大きく変わってしまう可能性があるのと、そういう課題を含めて議論していただけたらなと思えます。</p>
福嶋会長	<p>策定スケジュールと、19ページ20ページはいかがでしょうか。</p> <p>ちょっと、私から質問ですが。19ページで、総合戦略推進会議と市民会議で、双方向の矢印になって意見交換とあるんですが、この策定スケジュールの中では、それが全く出てこない。その辺はどうなんでしょうか。</p>
事務局	<p>19ページの意見交換という部分ですが、我々の思いといたしましては、9月14日の第5回の市民会議を終えて、市民の皆さんの意見を創生本部がとりまとめて、さらに創生本部の意見も追加して、推進会議のほうに提案させていただきます。推進会議ではそれについて、意見やコメントをいただく、あるいはそれについて意見を深めていただくということで双方向にしていますが、おっしゃるようなダイレクトに意見交換をするという部分は、確かにない状況です。</p> <p>次の11月のところでも推進会議からの報告書案を創生本部がいただきまして、市がワンクッションを置いて今度は市民会議の第6回目につなげるという状況でございます。</p>
福嶋会長	<p>この会議って先ほど市長から諮問いただいて、市長に答申を出すということが基本的な役割ですが、市長に意見を言う過程でね、市民会議と全然やりとりがないというのは、残念な気がして、むしろ、この会議の意見を市民会</p>

発言者	発言内容等
	<p>議に伝えて、市民会議の意見をまた聞いて、そういうフィードバックしながらやったほうがずっと中身があるのではないかと思うんですけどね。</p> <p>時間が限られますから、ちょっと提案も含めて言っちゃおうと第2回は9月下旬、第3回は10月下旬というふうになっておりますが、7・8月に前倒しして、そのときまでの市民会議の意見を報告してもらって、私たちが議論して、私たちの意見を市民会議に伝える。</p> <p>みたいな形で、9月から3回連続でやることになっていますが、むしろ6月から3回連続で市民会議と並行してやって、最後に答申をまとめる段階でまた2回ぐらい会議するというほうが、何か19ページの図にもはまるし、実質もよいのではないかと思うんですけども。</p>
事務局	<p>市としては、これまでの検討方法を引きずったところもありますので、そのような方向で検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>委員の皆様、そんな感じでいかがですか。</p> <p>せっかくですから市民と双方向でやれたらよりいいかなと。</p>
城南委員	<p>書面でおこなうイメージですか、それとも場を同じくしておこなうというイメージですか。会長のイメージは。</p>
福嶋会長	<p>場を同じくというわけにはいかないかもしれませんが。市民会議の議論は書面で報告してもらって。</p> <p>こちらの意見は場合によっては会長とか副会長が出席して伝えるみたいな事もあり得るかなと思うんです。</p> <p>仰々しくやるよりは、ざっくばらんにやって、市民会議ではここが抜けているのではないかと伝えたり、市民会議からは推進会議に「何をばかなことを言っているんだ」という意見があったり、ざっくばらんに進めたらよいのではないかなと思っています。</p>
城南委員	<p>会長の意見にだいが賛成なんですけども。市民会議に早い段階で、我々が関わることの良い面と悪い面がある気がするんですね。</p> <p>市民会議の中である程度、議論してから関わり合いが始まったほうが、いいような。直感で思うんですけども。</p>
福嶋会長	<p>それはもうちょっと理由とか。</p> <p>直感の中身というのはどういうことですか。</p>
城南委員	<p>市民会議の場に我々がでたときに、市民会議の方々がコントロールされているとか、やらされているっていう考えがでると嫌かなと思ったんです。</p> <p>だからある程度、市民会議の方々が自由闊達な意見を出して、ある程度意見が自分たちの意見がまとまった段階で、初めてなんかおもしろいことが始まるじゃないかなと思ったんで申しあげました。</p>
福嶋会長	<p>私たちが出なくて、行政だけが出ているんですよ。行政の考え方は説明するんですよ。やらされ感が万が一あるとしたら、そっちのほうが、10倍あるように思うんですね。</p> <p>私たちは別に対して偉い人ではないので、私たちも市民と変わらない。</p> <p>でも、それぞれ知見は、自分の分野で持っているというだけの話で、それは率直にぶつけ合ってもそんなに誘導しているとかって話にはならなくて、</p>

発言者	発言内容等
	<p>川西市はそんなことはないと思いますが、行政が何か誘導するみたいな感じになるのを、むしろ別の角度から私達も意見を言ったほうが、むしろならぬのではという気がしています。</p> <p>でも何か私たちがこうすべきであるとか、ここを議論せねばならないみたいな誘導したり、押し付けたりするようなことは十分気をつけていく必要があるのは確かに。</p> <p>ちょっとそういう方向で検討していただいていいですか。</p>
事務局	はい。その案を再度事務局で検討させていただきます。
山本委員	<p>ちょっとだけ戻るかもしれないんですけど、ここで来年の3月までに、総合戦略を策定すると思うんですけど、その間、それが今度、次の年にいろいろな部署においていくようなイメージでいいんですか。恐らく、今年度の各部の審議会とかいろいろなのが並行していると思うんですけど、今そこでもいろいろな議論があって、こちらも走って、次に、来年になったときに、どうも全然違うって、ある程度合うのかもしれないんですけどその辺の一致感とか何か見通しとかないといけないのかなってというのがあって。実はちょっと別のところで私も審議会に呼ばれてまして、そっちの議論でどういうふうに進んでいくのかなとか、来年以降のかかわりとかが気になりまして。</p>
福嶋会長	まさにスケジュールの話ですね。どうでしょうか。
事務局	<p>1番大事なことだと思うんですけど、川西もいろいろな各論の計画を持っていますし、毎年度、単年度の政策形成プロセスというのは、このスケジュール上ではだいたい10月ぐらいから始まっています。来年度に向けて、それが先ほど会長が言われた実施計画という、来年以降3年間どうするんだというのを今、作り上げております。</p> <p>それと先ほどいろいろな計画も大体このようなスケジュールで動いております。</p> <p>これは我々市長はじめ事務局のほうで、調整をしてですね、同じベクトル、同じ方向性を目標にですね、総合戦略が優先されてですね、実施計画、実施の手段が決められていく、そういう形でお考えいただいたら良いのかなと思います。そこは整合しっかりとりませう。</p>
福嶋会長	<p>今の話で、でも、新年度の来年度の予算というのは、確定する2月には予算案が完全にできていますよね。</p> <p>だから、多分今のお話を実行するためには11月の原案の段階でその中身を踏まえて、まだ正式決定ではないけども、原案の段階で、新年度予算を調整していく、みたいな考え方をしていただければという理解でいいですか。</p>
事務局	その通りです。
福嶋会長	<p>後は、ちょっとここで時間とりましたが、よろしいでしょうかね。</p> <p>総合計画・基本構想準備できましたか。次第としては3番に戻って川西市の現状についてですけども、まずは、基本構想について、ご説明いただきたいと思います。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
事務局	お手元お配りさせていただいておりますのが第5次総合計画ということ

発言者	発言内容等
	<p>で、25年度から10年間で、その中の基本構想が27ページです。</p> <p>大きな川西の目指す都市像というのが、先ほど私が口頭で申し上げました、であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち ということです。</p> <p>丸の二つ目でございますが、川西市民の視点から計画をとということがございまして、『であい』部分をひと・もの・ときを超えたさまざまな出会いやあいさつなどの小さい出会いを表し、『ふれあい』は、さまざまな“相”手とのかかわりや交流、自然、歴史、文化とのふれあいを表し、『ささえあい』は困ったときにお互いが相互扶助の精神や力を合わせて取り組む、団結力や地域力を表し、それを人やまちの資源が光り輝き、次の世代へと引きつないでいくまちの姿を表しています。</p> <p>34ページをご覧いただきたいのですが、先ほど、市民の皆様の視点ということで、先ほど来、行政からの視点という指摘をいただきましたが、総合計画の基本構想に基づく基本計画の視点が、市民の視点、いわゆる我々で言うと例えば福祉とか土木とか、そういう行政の分割ではなくて、暮らし、いわゆる市民の方が暮らすときには、住む環境であるとか、あるいはまちのにぎわいが関わるということで体系を、市民視点で暮らしとか、あるいは安全安心、それからつながり、それとか生きがいというようなこういうテーマの視点で総合計画のほうを作っておりまして、そういう意味では各部署が縦割りということではなくて、連携を図った中で行っていきたい、行っていくという方向性を示したものになっています。</p> <p>この部分に基づいて、我々が特にこの総合計画で基本としたところが参画と協働、市民の皆様と協働あるいは自治会・コミュニティー・ボランティアあるいはNPOの方々が主体となって行政と連携してまちづくりを進めていきたいというようなコンセプトを掲げています。</p> <p>この大きな前提のもとですね、少し細かいテーマで申し上げますと、次のページ、36ページからが市民の生活を合わせたような考え方をまとめています。</p> <p>10個ほどございますので少し割愛しながらご説明させていただきますが、第4章のテーマの方向性とシーンということで、生活の中で大事な部分を書いています。政策1の部分では「住む」ですね、こちらは川西市の特性を生かして住環境を維持、創出しているんな世代の方が住みよいまちであることということで掲げております。</p> <p>ここには交通条件のところであるとか、若年者の定住なんかも含んでおります。</p> <p>政策2「にぎわう」というところですが、中心市街地あるいは地域商業の部分も川西市の特徴の部分でもございますので、その辺を活用したまちづくりを進めていくということで、政策2で「にぎわう」を掲げております。</p> <p>次のページは、安全安心の視点から、まとめています。</p> <p>こちらは医療とか健康それと政策3・4・5と続けますが、防災の視点、あるいは防犯の視点であるとか、あるいは川西市は自然環境に恵まれたというのも一つ特徴としてありますので自然環境の保全ということもここで掲げているというような状況でございます。</p> <p>次のページに移りまして、次は生きがいの方向性でございますが、こちらは、社会全体で安心して子供の育ちとあとは子育てできる環境を整えるという部分で、政策6では「育つ」として、子育て支援を大きい目標として掲げていると。「学ぶ」につきましては、教育の環境のみならず、人と自然とか歴史文化の中で自分らしい生き方を見つけてもらうというそういう視点も含め</p>



発言者	発言内容等
	<p>た教育「学ぶ」というところを掲げさせていただいております。  次のページが39ページでございますが、こちらはつながりの部分でございます。</p> <p>「尊ぶ」ということで、いろんな市民の方々がおられます。性別、高齢者、障害者の方、いじめのさまざまな人権問題など、お互いがやさしさを持って思いやれるような、まちにしていきたいということで、「尊ぶ」という政策になっています。「関わる」は、こちらは先ほど大きなところで申し上げております、志縁型の団体、地縁型の団体とみんなでまちづくりを進めていきたいというところでございます。</p> <p>次のページの政策につきましては、これは行政経営的な視点ですので、総合戦略とは視点が少し違いますけれども、「挑む」ということで、行政経営の視点を書かせていただいているというような内容でございます。</p> <p>城南委員がおっしゃられたこの理念という部分に直接結びつくかどうかというところはあるんですけども、やっぱり行政としてはこういう視点を持って基本構想を持っておるといいう状況でございます。</p>
福嶋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この基本構想に基づいて、第1次総合戦略はできているし、今回作る第2次総合戦略もこの基本的な考え方のもとで作るといいうことになるという理解でよろしいですか。</p> <p>質問、議論はまとめてすることにして、本市の概要と第1次総合戦略を説明していただいたほうがいいですか。</p>
事務局	はい。
福嶋会長	そのあと、第2次に向けた5つの柱はこれでいいのかという、話を今日できたらいいかなと思っておりますけど、よろしいですか。終わりの時間って。
事務局	15時15分を目途にしています。
福嶋会長	<p>そうすると、今、簡単に、説明をしてもらって、5つの柱については、改めて次回、じっくり説明と議論をさせてもらうことにして、ちょっとさわりだけ説明をしていただいで進めるということにしましょう。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>資料1でご説明させていただきます。</p> <p>川西市をよくご存知の方と、大まか部分でしかご存知でないかたもおられると思います。</p> <p>1ページは川西市の位置を示しております。</p> <p>2ページ目は川西市をとりまく各自治体です。やはり我々が住む、あるいは来てもらう街として、阪神間と比較されることが多い状況です。</p> <p>次に下のところでございますが、兵庫の東になりますので、隣が大阪府ということになります。</p> <p>大阪からも来ていただきやすい、あるいは仕事へ行くにも住みやすいというようなまちで立地としてはこういう状況になっています。</p> <p>4ページでございますが、これは川西市が、先ほど市長からのご挨拶にありました、発展してきた状況でございます。</p> <p>中部から北部を中心にニュータウンとして栄えてきたというような状況で、その歴史を経て、今の現状であるということになります。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>下がその川西市の縦長の地形のところ、特徴が南北で能勢電鉄が南のほうから北のほうに伸びている部分と、それと、基幹道路ということで、南北に二本大きな道路が通っています。</p> <p>ニュータウンの中は整備が進んでいますので、支線道路ということで道路については、整備ができていますということです。</p> <p>さらに、新たに川西インターチェンジということで新名神高速道路が開通いたしました。ここでより車の利便性が高まったということでございます。</p> <p>次に7ページでございますが、川西市の特徴をとらえております。</p> <p>南のほうは中心市街地的な部分、それと中部については、観光地あるいは住宅、ニュータウン、それと、北のほうは自然が豊かという状況でございます。</p> <p>次8ページ、これが川西市役所から少し北側でこのような複合施設を整えた場所があります。これも中心市街地のひとつキーとなる場所をとらえております。</p> <p>下にございますのが人口です。</p> <p>平成25年から平成30年の人口ですが、高齢者の方がやはりかなり増えているのと、それに比較して、生産年齢人口のほうが増え、それと、年少人口も減少しているというような状況です。人口は1000人程度が減少しているという状況です。</p> <p>次のページをご覧ください。</p> <p>これが、川西市の高齢化の比較でございますが、近隣の宝塚市、伊丹市と比べても川西市のほうが高い状況です。さらに湯山台地区・多田グリーンハイツ・大和地区が入っておりますが、こちらはニュータウンでさらに高齢化が進んでいる状況でございます。</p> <p>下が第1次総合戦略で掲げております将来の人口推計となっております。</p> <p>このような状況で平成72年にかけて減っていくというような状況になっておりますが、平成22年から平成27年の推計よりは、国勢調査の結果を見れば、そこまで減っていないという状況でございます。</p> <p>12ページは財政状況でございます。こちらの方で川西市の歳入歳出の状況書いております。財政状況は厳しい状況でございますが、この総合戦略推進会議とは別で行財政改革審議会ということで、事業の検証を今年度から3年間で進めておりますので、これからまちづくりを進めていく上では戦略として重要なこと、戦略を進めていく上で事業をどういうふうに進めていったらいいのかっていうところは平行して進めていくような状況でございます。</p> <p>下が、第1次総合戦略で先ほど見ていただいた中で、14ページから18ページまでは、これまで、第1次総合戦略に基づいて、例えば団地再生とか子育て教育であるとか、産業あるいは地域資源を活かした施策、それと、健康に関する事業を展開してきたものをまとめておまして、皆様には実施状況報告書ということで30年度に取り組んだ状況をまとめています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>議論は次回にすることにして、どうしても今っていうことがあれば出していただければと思っておりますが。</p> <p>あと15分で、テーマの5つの柱について、先ほど浜田さんから、相互の連携とか柔軟に乗り越えていくということが必要ということがあったのです</p>

発言者	発言内容等
	<p>が。          ちょっと他にも5つの柱のことであつたら。          これ、そうすると、これでいいでしょうか。</p>
浜田委員	<p>さっきノリシロがはみ出すっておっしゃったんですけども。でも一応このまま、このテーマですって振り分けるんでしょうか。</p>
伊藤副会長	<p>そうですね。議論の入り口のところがこの5つになるので、多分市民会議の第2回目でそれぞれの班のテーマについて現状説明が行政側からあって、その後、議論していくことになると思います。          ただ、市民会議の市民が入った議論の特徴としては、行政に言われたことの中で発言をしてもらうということではなくて、行政がやっていることについて一定紹介をした上で、あとは自分たちの生活の実感の中から発言をしてもらうことに、そういう進め方を心がけていますので今までの実感で行くと例えば産業の話はあるけれども産業の議論しながら、川西だったら農業は今まで盛んだったけれども、この後は別なところに変化をしなければいけないんじゃないかっていう話があったときには、それから議論を進めていくことになると思っています。一つの議論の出発点にはなるけれども絶対にこれ以外を話しちゃいけないよということではないと言いつけています。</p>
福嶋会長	<p>そんな感じで、いいのか、もうちょっと工夫が必要なのか。どうでしょうか。</p>
城南委員	<p>進め方のことで教えてほしいんですけど。          議論の入り口になってディスカッションが始まるというふうに理解したらいいんでしょうか。          例えば課題がありますよね。課題を出していただいて、こんな課題があるのか。その課題を解決するためにどうしていくのというような進め方も、あるような気もするんですけども、そのへんは臨機応変になるんでしょうか。</p>
伊藤副会長	<p>第1回目の最後班に分かれた時に、自己紹介してもらうんですけど自己紹介だけじゃなくて、それぞれのテーマに対して、その人が感じたことを一言発言してもらおうようにしています。          例えば、住環境とかについてどう思うか、一言を発言していただくんですが、結構そのときの一言が、人によって多様な取り方をされていて、課題として発言される方もいるし、逆に強みとして発言される方もいる。コーディネーターとしては最初の一言を1番重視していて、そこから後の論点に変えていくようにしているんです。          ですので、一応テーマ設定をして入り口は決めてはいるけれども、それぞれの分野ごとに、2回目の最初の議論って何から出発するかというのが本当に皆さんの一言の中から生まれてくるっていうようなやり方をとっています。城南さんがおっしゃったような、課題に感じていることっていうのは多分その時に皆さんが思っていれば出てくるんじゃないかと思っています。今までも本当に課題しかでなかったような場もありましたので。          そういう進め方を考えています。</p>
福嶋会長	<p>出来たら、今度、委員の皆さんも傍聴に出たりとか。可能な方は傍聴していただいたら実感がわくかなと思うのですが。</p>

発言者	発言内容等
片山委員	<p>5つのテーマに絞ってもらったが、うがった見方をすると、本当はもっとあったんじゃないかなとか、きれいな言葉にまとめられたんじゃないかなと。</p> <p>落とし込みやすい分け方をされているんだとしたら、そもそも、違うのではないかなと思っています。この会議で川西は変わっていかないといけないよと危機感を持って集まった会議なのに、きれいにまとまっていくのは嫌だなと思います。</p> <p>回答があった意見を私たちが知れたなら良いかなと思います。</p>
伊藤副機長	<p>ここにキーワード一覧があったら良いなと思いました。</p> <p>2000人に無作為抽出で送って、多分返ってきた率が5割を超えたんですけど。返信率でいくと。</p>
事務局	<p>2000人をお送りしましてアンケートで返ってきたのが563人っていうことです。</p>
伊藤副会長	<p>キーワード1人当たり、3つまで書いてくださいという設問で送ったのですが、全部のキーワード総数が1185個でした。</p> <p>1番意外だったのか明確に単語で出てきて一番多かったのが「いちじく」。「いちじく」の数が確か100とか200個ありましたね。</p> <p>いちじく、三ツ矢サイダー、あとベッドタウンとかですね。</p> <p>原石がたくさんあったものを、まとめた結果がこのような形になったと感じているので、少なくとも市民会議の1回目のときには、どういうふうにしてまとめたのかっていうことがわかるような資料をつけていただくほうがいいと思います。</p> <p>課題のほうでいくと、例えばですが、「特徴がない」、「中学校給食がない」など、明確なものがあります。</p>
福嶋会長	<p>あとはよろしいでしょうか。</p> <p>私から一つお願いは、政策テーマの柱を変えるということではありませんが、子育てというのが2番目に入っていますが、1次の総合戦略の概要で子育て中の女性が、仕事と育児の両立ができる環境づくりってあります。</p> <p>これは、子育て中の男性の両立についてはもう川西市はばっちりだということか、あるいは、子育ては女性がするものだっていう前提があるかどうかどちらかなんですが。</p> <p>多分、前者ではないと思いますので、女性は子育てするっていう前提で書かれているというのは、逆に行政の言葉が子育ての負担感を女性に与えているのではないかというふうに思います。</p> <p>ぜひ2次では、また、この5つのテーマでやる時は、意識して変えてほしいなと思います。</p> <p>あとはいかがでしょうか。よろしいですか。</p>
事務局	<p>皆様ありがとうございました。次回の日程につきましては先ほどお話が出ましたように再度調整させていただくということで、よろしくお願ひいたします。</p> <p>皆様の予定をお伺いしまして、日程が決まり次第、改めてご連絡をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは本日の会議はこれで終了とさせていただきます。本日はまことに</p>

発言者	発言内容等
	ありがとうございました。